

シラバス

学科名	文化芸術学科	科目名	ポップス史
授業 内容	<p>《授業概要》</p> <p>本授業は、一連のステップの基礎に位置づけられる科目である。音楽学の視点や研究方法を理解し、問題点を自ら発見し、考える力を身に付けるために、この授業がその導入になることを目指している。また、音楽を対象とする研究分野や活動が多岐に渡ることを知り、広い視野の獲得を謳うマーキュリーカレッジの建学の精神を実践的に身につけることを目標としている。また、さまざまな専門分野についての知見を元に、各自が将来研究テーマを設定できるようになる、その土台を提供することも狙っている。また、いずれの分野にとっても基本となる資料収集（レファレンス）の方法についても、適宜扱う予定である。</p> <p>《学習の到達目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ポップス音楽の領域について理解する。 2) 事例研究などを通じて、音楽学の研究方法の基礎を理解する。 3) 音楽資料の種類や収集法を理解する。 		
	<p>(前期)</p> <p>第1回：ガイダンス</p> <p>第2回：ポピュラー音楽のリズム</p> <p>第3回：ポピュラー音楽のスタイル</p> <p>第4回：黒人奴隷の音楽</p> <p>第5回：ブルース（授業後、小テスト）</p> <p>第6回：ロックミュージック①</p> <p>第7回：ロックミュージック②</p> <p>第8回：ジャズ、カントリー、ラテン音楽</p> <p>第9回：ゴスペル、ソウルミュージック</p> <p>第10回：確認テスト</p> <p>第11回：ミュージカルの誕生</p> <p>第12回：ミュージカルの変遷</p> <p>第13回：社会情勢とポップス（授業後、小テスト）</p> <p>第14回：ポップスと技術革新</p> <p>第15回：前期テスト</p>	<p>(後期)</p> <p>第16回：初期のポップス(ビートルズ、ローリングストーンズ、ABBA など)</p> <p>第17回：中期のポップス(マイケルジャクソン、マドンナなど)</p> <p>第18回：JPOP①</p> <p>第19回：JPOP②</p> <p>第20回：KPOP(授業後、小テスト)</p> <p>第21回：ポップス史まとめ①</p> <p>第22回：ポップス史まとめ②</p> <p>第23回：ポップス史まとめ③</p> <p>第24回：確認テスト</p> <p>第25回：自身の好きなポップス曲について情報収集</p> <p>第26回：プレゼンテーション</p> <p>第27回：ディスカッション</p> <p>第28回：講師による特別授業</p> <p>第29回：授業全体のまとめ</p> <p>第30回：後期テスト</p>	
教科書 参考書	<p>教科書 世界のポピュラー音楽史 アーティストでつづるポピュラー音楽の変遷 2012</p> <p>著者:山室 紘一 ヤマハミュージックエンターテインメントホールディングス 2750 円</p>		
成績評 価の基 準と方 向	<p>成績評価方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.授業態度 20% 2.確認テスト 40% 3.定期テスト 40% 		
履修上 の注意 点			